

本通知は、米国会計基準適用会社を対象としています。

名証自規G第5号
平成22年2月16日

情報取扱責任者各位

株式会社名古屋証券取引所
自主規制グループ長 鈴木 武久

米国会計基準適用会社における決算短信開示項目統一のお願いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、重要な会社情報の適時かつ適切な開示にご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当取引所では、今般、T D n e t（適時開示情報伝達システム）において、米国会計基準適用会社における決算短信開示項目等を、下記のとおり、平成22年3月23日（火）（予定）から変更することとなりましたので、ご案内申し上げます。

米国会計基準適用会社各位におかれましては、本通知の内容を十分にご確認のうえ、同日以降に決算短信等を開示する場合、別紙の記載例を参考に様式を統一して提出していただきますようお願い申し上げます。

敬具

【本件に関するお問合せ先】

株式会社名古屋証券取引所

自主規制グループ（上場監理担当）

TEL：052-262-3174

E-mail：syoken@nse.or.jp

記

1. 決算短信サマリー情報の開示項目の表示変更について (別紙1参照)

- ・ 米国会計基準適用会社において、以下のとおり、決算短信の開示項目の表示を変更します。

新	旧
当社株主に帰属する当期純利益	当期純利益
当社株主に帰属する四半期純利益	四半期純利益
資本合計（純資産）	純資産

※ その他の開示項目につきましても、別紙1の開示項目名に統一します。

※ 「業績予想の修正」の開示項目名も変更します。

2. 決算短信サマリー情報等開示の実務上の留意点 (別紙2 別紙3参照)

- ・ 「通期決算短信」及び「四半期決算短信」、「業績予想の修正」フォーマットについては、TDnet オンライン登録サイトで表示されるフォーマットが変更となるため、平成22年3月23日以降、「通期決算短信」又は「四半期決算短信」、「業績予想の修正」をご提出いただく際には、再度様式のカスタマイズが必要になります。
- ・ フォーマット変更に伴い、平成22年3月22日以前に開示した「通期決算短信」、「四半期決算短信」及び「業績予想の修正」は、TDnet オンライン登録サイトの「数値データの追加訂正」画面から削除されます。
- ・ 平成22年3月23日以降にそれ以前に開示した当該資料について、数値データの追加又は訂正を行う場合は、TDnet オンライン登録サイトの「開示情報の新規作成と提出」画面から数値を入力し、作成してください。
 - ※ 「通期決算短信」、「四半期決算短信」を再度カスタマイズ設定していただく際には、別紙2又は別紙3の様式を参考にカスタマイズするようにしてください。

3. 決算短信サマリー情報の開示事項の内容について

- ・ 「通期決算短信」、「四半期決算短信」の開示事項の内容については、以下の開示・記載上の注意点をご確認のうえ、ご対応ください。

□決算短信サマリー情報の開示事項及び開示・記載上の注意

開示事項・内容	開示・記載上の注意
株主資本	次の算式で計算した数値を記載してください。 期末における連結貸借対照表上の「資本合計（純資産）」 －期末新株予約権 －期末非支配持分
株主資本比率	次の算式で計算した数値を記載してください（小数第一位未満を原則として四捨五入）。 $\frac{\text{期末株主資本}}{\text{期末総資産}} \times 100$
配当性向（連結）	次の算式で計算した数値を記載してください（小数第一位未満を原則として四捨五入）。 $\frac{\text{普通株式に係る 1 株当たり個別配当金（合計）}}{\text{1 株当たり当社株主に帰属する当期純利益}} \times 100$ （分母がマイナスの場合は「－」を記載してください。） ※次期については、分母・分子ともに予想額により計算してください。
株主資本配当率（連結）	次の算式で計算した数値を記載してください（小数第一位未満を原則として四捨五入）。 $\frac{\text{普通株式に係る 1 株当たり個別配当金（合計）}}{(\text{期首 1 株当たり株主資本} + \text{期末 1 株当たり株主資本}) \div 2} \times 100$ （分母がマイナスの場合は「－」を記載してください。）

以上